指定管理者制度導入施設の運営状況（令和７年度）

１．施設名等

施設名	別府港北浜ヨットハーバー	所在地 電話番号 ホームページ	別府市北浜１丁目８１８－３８６ ０９７７－８５－７１２１ https://sasaki-corp.jp/offices/marine/beppu/

２．指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名　称 所在地 指定期間	株式会社ササキコーポレーション 山口県宇部市港町1丁目13－5 令和3年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課（局・室）	土木建築部 港湾課 TEL：０９７－５０６－４６１４

３．施設の概要

設置年月日	平成２２年７月１日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	海洋性レクリエーションの振興及び、別府港内の不法係留船の適正係留のため
事業内容	①北浜ヨットハーバーの維持管理及び修繕に関すること。 ②北浜ヨットハーバーの使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 ③北浜ヨットハーバーの利用促進に関すること。 ④上記に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める業務。
施設内容	・浮桟橋（５基）６４隻・ボートヤード（陸上保管）２５隻 ・上架施設（ウィンチ）・フォークリフト・船台４基 ・駐車場７４台・船揚場 ・給水給電施設・管理棟・外周フェンス
使用料等	浮桟橋使用料：2,200～5,450円（日：一般使用）　16,900～42,100円（月：専用使用） ボートヤード使用料：2,100～4,850円（日：一般使用）　13,100～32,500円（月：専用使用） 上架施設使用料：1,650～3,750円（１回） 給水施設：370円（１回） 給電施設：260円（１回）
閉館日	１２月２９日～翌年１月３日

４．目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
係船率	令和4年度	83%	96%	115.6%
	令和5年度	84%	98%	116.6%
	令和6年度	84%	98%	116.6%
	令和7年度	84%	97%	115.4%

５．施設の利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数(隻)	令和4年度	1,762	1,766	1,689	1,786	1,850	1,833	
	令和5年度	1,852	1,838	1,684	1,848	1,836	1,843	
	令和6年度	1,915	1,843	1,822	1,898	1,882	1,791	
	令和7年度	1,714	1,875	1,823	1,834	1,795	1,794	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和4年度	1,886	1,830	1,891	1,891	1,708	1,891	21,783
	令和5年度	1,981	1,898	1,980	1,947	1,799	1,874	22,380
	令和6年度	1,983	1,902	1,941	1,846	1,657	1,841	22,321
	令和7年度	1,935	1,817	1,897	1,894	1,704	1,878	21,960

６．利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	3月に施設の利用者のうち更新希望者にアンケートを送付した。
	実施結果	利用者アンケート調査での結果（配布した50名のうち35名が回答） ・スタッフの対応：良い25人　概ね良い10人　やや悪い0人　悪い0人　無回答0人 ・施設について：良い18人　概ね良い10人　やや悪い6人　悪い0人　無回答1人

利用者等からの主な意見・要望・苦情	左の対応状況
桟橋上に個人の荷物を放置していることがある。	引き続き電子的/印刷物を通じて利用者へ注意喚起を行っていく。
Wi-Fiについて、桟橋でも使用できるようにしてほしい。	公衆Wi-Fiを導入し対応したが、電波法範囲内ではやはり電波が弱い。桟橋全体となると、大掛かりな工事と費用が必要であるため、困難な状況である。
夜間、桟橋等の動線が暗く船舶へのアクセスがしにくい。	足元用のライトとしてｿｰﾗｰ式の電灯を設置した桟橋もある。
指定管理者の技術力の向上。	グループ社内で研修を行い、船舶管理/ﾒﾝﾃﾅﾝｽ、施設修繕のスキルアップを図っている。

７．サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	○ 海でのレクリエーションの際は体に塩分が付着して不快であること、また、別府温泉を利用し地域活性化へ貢献してもらうため、ビジター利用者へのサービスとして、別府八湯温泉本の販売を行った。 ○ 安心してビジターが入港できるように、スタッフが係留場所まで誘導した。
イベント等の充実	○ 毎年度、九州UMIアカデミーを開催し、小中学生を対象にしたシーカヤック体験など海洋性レクリエーションの振興に積極的に取り組んでいる。令和7年度は令和6年度と同数の77名の参加があった。 ○ 免許取得希望者をチラシ・HP等で募り、免許スクールを開催した。 ○ キッチンカーを誘致し、利用者の満足度の向上に努めた。

８．管理に係る収支の状況　　（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	**令和7年度**
収入額（A）		19,169	27,219	24,973	30,682
内訳	県からの委託料	15,688	16,068	16,597	21,548
	利用料金	0	0	0	0
	事業収入	693	593	624	618
	自主事業収入	2,680	10,481	7,413	8,164
	その他（雑入）	108	77	339	352
支出額（B）		14,895	22,916	23,918	25,320
内訳	人件費	6,556	8,194	7,195	10,402
	維持管理費	5,718	5,998	6,589	7,980
	事業費	713	600	663	624
	自主事業費	1,908	8,124	9,471	6,314
	その他（○○、○○）				
収支差額（A－B）		4,274	4,303	1,055	5,362

９．施設使用料等の収入状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用料金（千円）	令和4年度	9,201	1,536	1,089	2,082	940	1,723	
	令和5年度	9,561	327	545	2,436	954	273	
	令和6年度	8,373	1,475	1,064	1,727	939	728	
	令和7年度	10,055	803	431	1,826	395	632	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和4年度	1,938	874	619	1,788	840	470	23,100
	令和5年度	2,801	1,275	524	1,858	1,071	449	22,074
	令和6年度	2,154	1,387	509	2,199	213	458	21,226
	令和7年度	2,547	1,347	746	1,925	365	417	21,489

１０．指定管理者の管理体制

施設管理体制	ササキコーポレーション本社からスタッフを派遣 館長１名、リーダー１名、スタッフ４名の計６名体制								
	職員数 （R7.4.1）	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他		合計
		2		3		1			

１１．適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	○ 施設メンテナンスの研修を行い、施設の維持管理に必要な知識の習得に努めた。
防災に関する研修・訓練	○ 気象研修等を行い、マリーナに必要な知識の収集を行っている。
安全対策等	○ 施設・設備の保守点検として浮桟橋、上架施設の保守点検を毎日実施している。 ○ 警備業務は警備会社へ委託し、夜間巡回を毎日実施している。